

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	インテリアデザイン実習1	
科目基礎情報					
開設学科	インテリアデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2 単位			授業形態	実習
教科書/教材	教科書[インテリアデザインの実技]／参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	小川 知子		実務経験の有無・職種	有・インテリアコーディネーター	
学習目的					
設計製図をするために、製図道具の使い方からスタートし、線の引き方、文字の書き方、記号の理解など基礎から学びます。 木造、ＲＣ造のインテリアの各種図面（平面・展開・断面・パース）が作図できるようになります。					
到達目標					
図面は人にデザインを理解してもらうための手法の１つとなり、施工するための設計図として、他者が見るものであるという意識をもって取り組んでほしい。実務において空間を理解してもらうために必要な技能であることを理解して臨むことを目標としている。					
教育方法等					
授業概要	図面のルールを理解した上で、作図することが設計の上達の近道である。理解もせずに見本をなぞるような作図は上達しないことを意識させてトレーニングさせます。 1つの物件に対し、多くの図面があって形になることを理解させ、どの図面も描けるようにトレーニングさせます。				
注意点	毎時間種類の違う図面を描くトレーニングをするため、欠席をしないでかならず時間内に仕上げること。 仕上げられなかった場合は、翌週の時間までに仕上げておくこと。全ての図面が揃って、合格とする。 授業時数の4分3以上出席しない者は合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	製図道具の使い方、図面の種類と意味		道具の使い方の理解、文字や線の書き方を理解する		
2 回	図面記号を学ぶ		図面に表記される記号の意味を知る		
3 回	平面図の書き方		自分の部屋を実測し、図面化する		
4 回	展開図の書き方		自分の部屋を実測し、図面化する		
5 回	スケッチ		自分の部屋を実測し、図面化する		
6 回	ＲＣ造の製図（平面図）		ＲＣ造のマンションの1戸の平面図を描けるようになる		
7 回	ＲＣ造の製図（断面・展開図）		ＲＣ造のマンションの1戸の展開・断面図を描けるようになる		
8 回	ＲＣ造の製図（断面・展開図）		ＲＣ造のマンションの1戸の展開・断面図を描けるようになる		
9 回	ＲＣ造の製図（パース図）		ＲＣ造のマンションの1戸のパース図を描けるようになる		
1 0 回	三面図の書き方		三面図の書き方のルールを学ぶ（造り付け家具）		
1 1 回	木造の製図（平面図）		戸建て木造住宅の平面図を描けるようになる		
1 2 回	木造の製図（平面・配置図）		戸建て木造住宅の平面・配置図を描けるようになる		
1 3 回	木造の製図（断面図）		戸建て木造住宅の断面図を描けるようになる		
1 4 回	木造の製図（立面図）		戸建て木造住宅の立面図を描けるようになる		
1 5 回	プレゼン講評会		作図した図面（ＲＣ造・木造）の振り返りを行う		